記者発表資料

平成２３年度

仙台河川国道事務所事業

第３次補正予算概要

平成２３年１１月２１日

国土交省　東 北 地 方 整 備 局　仙台河川国道事務所

※発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、大崎記者クラブ
石巻記者クラブ、白石記者クラブ、気仙沼記者クラブ、河北新報社迫支局

国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
TEL　０２２－２４８－４１３１（代）
URL　http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/
副所長（河川・海岸）　本多（ほんだ）　吉美（よしみ）　内線２０４
副所長（三陸沿岸道路）佐藤（さとう）　寿昭（としあき）　内線２０５

平成２３年１１月２１日
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

平成23年度 仙台河川国道事務所 第3次補正予算概要

平成２３年度 第３次補正予算　約１９５億円（工事関係費）

河川関係：約１６億円、道路関係：約１７９億円をもって、被災地の復興等を強力に推進するとともに、国民生活の安全・安心の確保に向け、災害に強い社会基盤整備に向けた取組を緊急に進めます。

◆平成２３年度　予算総括表（工事関係費）

（単位：百万円）

区　　分	復　興	事　業　箇　所　等
河　　川	1，563	阿武隈川下流、名取川
道　　路	17，931	三陸沿岸道路
合　　計	19，494	

※配分類は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。
※河川維持、河川施設更新に係る予算については計上していない。
※道路維持、道路更新防災、交通安全に係る予算については計上していない。
※公共土木施設等における災害復旧事業等については、災害申請中のため、計上していない。
注）百万円未満は四捨五入による。

◆　事業の概要　◆

・復興道路（三陸沿岸道路）の緊急整備。

・阿武隈川下流・名取川の河口部における
堤防嵩上げ、水門等の自動化・遠隔操作化等。

（資料編）

・河川津波対策等　・・・・・・・・・・資１

・復興道路・復興支援道路の概要　・・資２

・復興道路の箇所別概要　・・・・資３～５

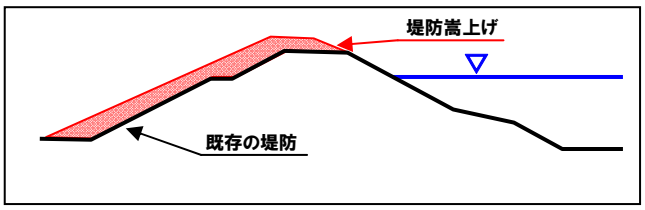
・県別主要事業の概要

【 宮城県 】河川津波対策等

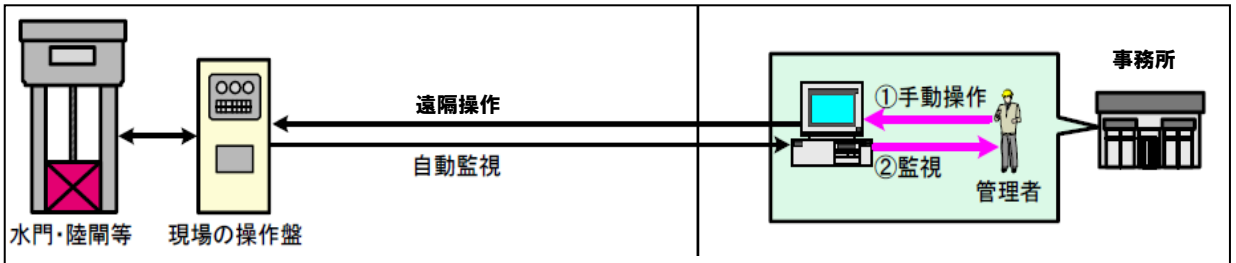
・津波による甚大な被害や地震による堤防・水門等の被災を踏まえ、堤防の嵩上げ、水門等の自動化・遠隔操作化等を実施します。

【補正事業費：１，５６３百万円】

堤防の嵩上げのイメージ



水門等の自動化・遠隔操作化のイメージ



ただし、遠隔操作不能の際は、水門が自動で閉じる。

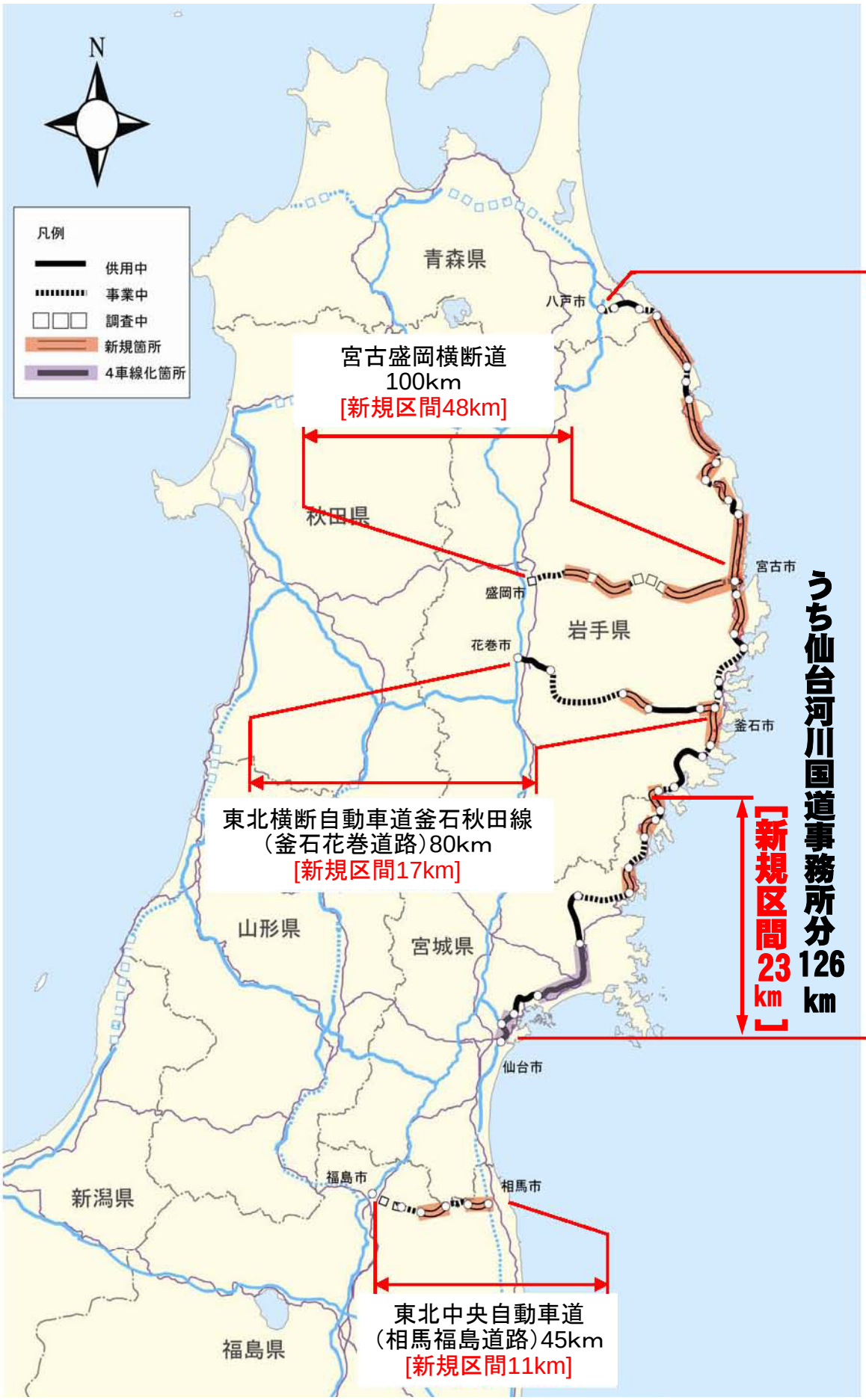
事業の整備効果

・事業の実施により、津波や地震による被災の防止、軽減を図ります。

・水門等の自動化・遠隔操作化により、緊急時でも安全な操作が可能となります。

復興道路・復興支援道路の概要

［直轄関連分］



資2

【宮城県】復興道路の緊急整備

● 国道45号　三陸沿岸道路（直轄）（宮城県分：仙台市～気仙沼市）

【補正事業費：17，931百万円】

【代表箇所】 国道45号　三陸沿岸道路　仙塩道路（4車線化）

・4車線化及び多賀城IC（仮称）に着手し、調査設計、橋梁工事を実施します。

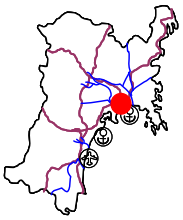


事業の整備効果

・復興道路の緊急整備を実施することにより三陸沿岸軸の強化を図り、東日本大震災からの早期復興を図ります。
・４車線化により当該区間の混雑が解消し、仙台北部工業団地群と物流の拠点である仙台塩釜港間のスムーズな移動などが可能となります。

【代表箇所】 国道45号　三陸沿岸道路（さんりくえんがん）　矢本石巻道路（やもといしのまき）

・石巻北IC（仮称）（いしのまききた）に着手します。併せて4車線化の調査設計、改良工事、橋梁工事を実施し、事業の進捗を図ります。



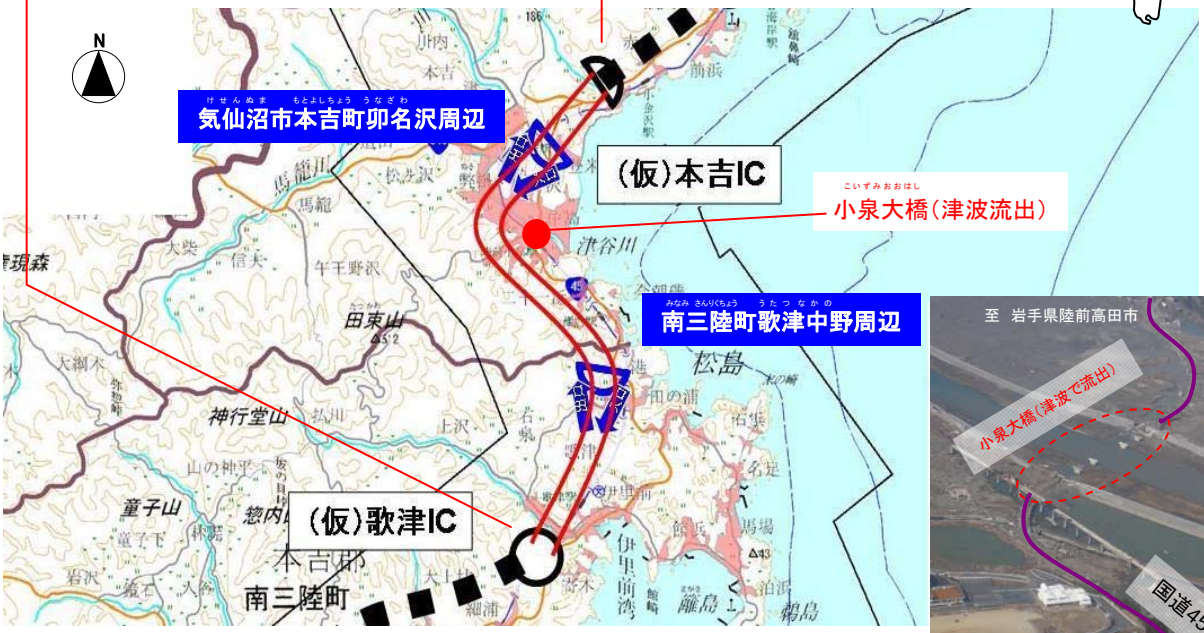


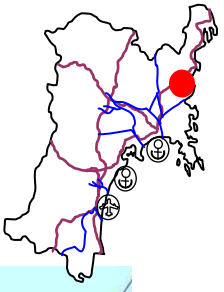
事業の整備効果

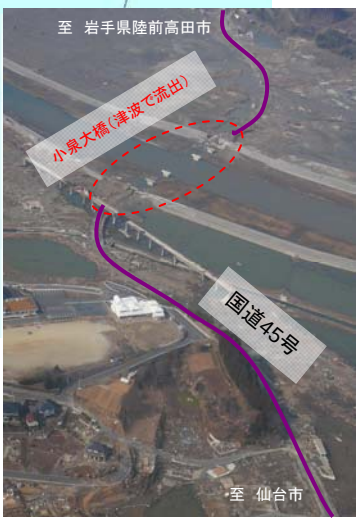
・復興道路の緊急整備を実施することにより三陸沿岸軸の強化を図り、東日本大震災からの早期復興を図ります。
・石巻北ＩＣ（仮称）の整備により石巻赤十字病院へのアクセス強化が図られます。 併せて４車線化により当該区間の混雑が解消します。

【代表箇所】 国道45号　三陸沿岸道路（歌津～本吉）

・新規事業化し、調査設計、用地買収を実施します。







被災直後の状況（本吉町付近）▶

事業の整備効果

・復興道路の緊急整備を実施することにより三陸沿岸軸の強化を図り、東日本大震災からの早期復興や孤立解消等の津波に強い地域づくりを支援します。
・広域的なリダンダンシーが向上します。
・地域間の連携の強化及び平常時も含めた救急搬送圏域の拡大と速達性が向上します。